

# Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 23



H29.10.10

今月のキーワード

とちぎっ子学習状況調査

小・中をつなぐ英語教育

先月に続き、とちぎっ子学習状況調査（中学校2年生）についての考察をお伝えします。また、小・中学校の先生方合同で実施した英語授業力向上に関する研修についても報告いたします。後期が始まり、学校行事等でお忙しい中ではありますが、皆さんで情報共有をしていきましょう。

## とちぎっ子学習状況調査より②

市平均正答率が低かった設問「長文の読み取り」について考えてみます。

December 28<sup>↵</sup>

Dear Ayaka,<sup>↵</sup>

How are you doing? My brother and I are in London now. We came here five days ago.<sup>↵</sup>  
We are staying with our uncle and I'm writing this letter at his house.<sup>↵</sup>

How is the weather in Japan? It's very cold here. It is snowing now. But I'm really enjoying my stay. Our uncle took us to a musical two days ago. We had a good time. And yesterday, my brother visited a museum and I went to a big park. I saw some cute birds there, and took pictures of them. You can see pictures on my website. <sup>↵</sup>

See you! <sup>↵</sup>

Your friend,<sup>↵</sup>  
Tony<sup>↵</sup>

上記の英文を読んで、指示語（there）の内容を問う問題、質問（英文）に対する答えを正しく選ぶ問題が出されましたが、いずれも正答率は50%程度でした。

### ○考察

- 書かれている内容の概要を把握したり、詳細についての理解を図ったりするために、教師が発問をしてから英文を読ませるなど、読み方指導を工夫していく必要がある。
- 日頃から代名詞 it/this/that 等の指すものを意識しながら読む癖がついているか、再確認したい。
- 音読指導を見直す。読んで日本語に置き換えずに意味が理解できるようになるまで、何回も読むことを心掛けさせたい。1学年下の教科書を使って音読の量を増やす活動も考えられる。
- 全体のあらすじや大切な部分を読み取る力が身に付いているかどうかを確認するために、単元末などに教科書以外の文章に触れる機会を意図的に作ることも効果的である。初見の英文を読んで、理解できる力を付けさせたい。

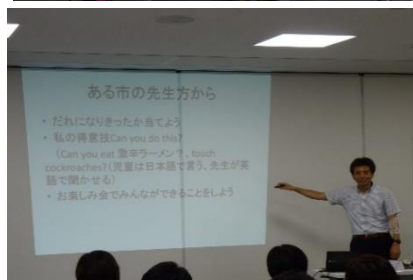
教科書本文の内容を理解した後に、生徒同士で質問を出し合うなど、読む活動から、聞く・話すコミュニケーション活動につなげることもできます。日頃の活動にひと工夫を心掛けてみてください。



## 小・中をつなぐ英語教育



9月25日(月) 英語授業力向上に関する研修を実施しました。市英語教育推進プロジェクト委員会委員長としてお世話になっている東京家政大学の太田洋教授より、「小中英語教育のこれから～授業づくりのポイント～」と題して講話をいただきました。



<講話より(一部抜粋)>

・新学習指導要領で重視されている事項

「**生きて働く知識**」とは？

～したいときに・・・できる知識(伝えたいときに使える知識)

例：自己紹介をしたいときに使える知識

・どのような授業づくりをすればよいか

「**USEの視点**」をもつ・・・When/Why

いつ・なぜ(その英語を)使うのか

**目的・場面や状況・相手**を意識することが活用のポイント。

聞きたい、言いたい状況をいかに作るかは先生方のアイデア次第。

例：How many ～? を使う場面設定は？

教科書の場面設定を見直してみることも授業改善のヒントになる。



<振り返り用紙より>

- ・外国語活動の中で、今まで **USEの視点**で学習内容を考えたことがなかった。
- ・小学校担任として、率先して英語に親しむ**学習者のモデル**として楽しみながら学びたい。
- ・先生方も「無理をせず、**できることから始める**」という言葉聞いて安心した。
- ・**授業をする際の大事なポイント**を小・中をつないでいくことが大切だと感じた。**先生方の交流**も大切にしていきたい。
- ・授業を組み立てる上でたくさんのヒントをもらうことができた。中学校の**教科書本文を見直し**、いろいろな**場面設定**を工夫していきたい。
- ・**学校区**の先生方と話をすることができて、**良い機会**となった。

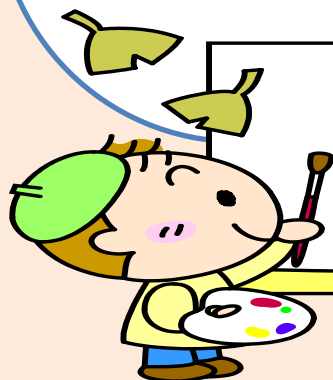


小中一貫教育を進めるにあたって・・・

What と How で考えましょう。

何をつなぐか・どのようにつなぐか

特に **How** でつなぐことがポイントです。(太田洋先生より)



今後も小・中の先生方が合同で研修できる機会をもち、小中一貫教育の柱の一つとして英語教育を推進していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

文責：稲葉亜希恵